

3-8 受験にあたって

進路の計画

1. 題材設定の理由

この時期の3年生は、個人懇談で自分の進路希望先を決定し、その実現に向けて、さまざまな努力を続けている。また、校内では、文化発表会や合唱祭、「3年生と語る会」など、この1年をしめくくる行事が行われている学校もある。

そうした中で、多くの生徒は入試や進路先に対して不安を抱き、精神的に不安定であったり、深夜に及ぶ家庭学習などで体調を崩したりする。

そこで、学級での話し合いや調べ学習などを通して、自分や仲間の置かれている状況を的確に見つめさせ、自分の進路実現と、ともに歩んできた仲間との生活の両立をはかりながら、心身ともによい状態で受験に臨めるようにしていきたい。

2. 指導のねらい

学級の中で、お互いの進路に対する不安や悩みを語り合い、受験当日までの生活、健康管理、受験の準備などについての理解を深めることで、自分で決めた進路の実現に向けて、最後まで精一杯努力しようとする心構えをより強くもたせる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・生活記録や健康観察、個別相談などを通して、生徒の心身の状態などを把握しておく。また、前年度の入試情報などを整理し、紹介できるようにしておく。
本時	・誰もがもっている進路に対する不安を語り合い、万全の状態での受験できる心構えを育てる。
事後	・生徒観察を引き続き行い、随時、相談会をもつ。また、面接練習の指導・援助を行う。

<説話例1>

■冬来たりなば、春遠からずや

「冬来たりなば、春遠からずや」これは、パーシー・ピッシュ・シェリーというイギリスの詩人の言葉です。この言葉は、厳しい冬が来たら、暖かい春の訪れはもう間近だという意味です。あなたたちに置き換えるならば、『受験を間近に控え、今はさまざまな不安や悩みを抱いているが、あきらめず努力すれば、季節が確実にかわっていくのと同じように状況は好転し、夢が実現することでしょう。』ということ。3年生になり、進路実現に向けての日々の努力や悩んできたことを忘れずに、自分を信じて、よりよいコンディションで受験に臨みましょう。

<説話例2>

■道は決して一つではない。どんな結果でも受け入れる勇気をもとう。

試験である以上、結果は出ます。しかし、それは試験当日だけで決まると考えないことです。むしろ、それまでの努力や、自己理解の延長線上にあると言えます。その意味から、周囲の助言をもとにして自分で決定した希望先に自信をもって、臨みましょう。

また、目標に到達する道筋は決して一つではありません。もし、残念な結果であっても、勇気をもって、それを受け入れ、次の方法を考えることが大切です。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・仲間も、自分と同じように悩みをもっているのだと知ることができる。	◎受験を間近に控えた今の気持ちを発表する。 ・わたしも○○君と同じように不安でしかたがない。 ・今、何をやればいいのかわからない。 ・不合格だったらどうしようか心配だ。	・数人の生徒を指名し、現在の心境を素直に発表させる。 (自分の弱さ、不安) ・答えにくい場合も考えられるので、事前にアンケートをとり、その結果を図表にまとめておく。	・資料 「生活記録 個別相談」
課題：受験するために必要な心構えや準備について考えてみよう。				
中心 的な 活動	・自分の進路実現に向けて、受験日までや、当日に必要な心構え、準備について理解することができる。	◎受験の心構えとして何が必要なのかをまとめ交流する。 〔前日までの意見として〕 ・学習の総復習をし、万全の体制で臨む。 ・苦手教科に専念し、学力をつける。 ・深夜の学習の取り組みで、体調を崩しやすいので、規則正しい生活のリズムをつくる。 〔当日の意見として〕 ・持ち物を確認して忘れ物のないようにする。 ・服装をキッチリとして臨む。 ・受験校の入試要項を読んでから臨む。	・数名の生徒に発表させる。 ・具体的な持ち物まで発表させ、全員を確認をする。 (受験票、弁当など……)	・P.56資料 1を参考に補足する。 ・P.56資料 1のB・ Cを参考に にする。
ま と め の 活 動	・面接の心構えや準備について理解することができる。	◎面接では、どんなことを心掛けたらよいかまとめる。 P.56の①、P.57の②に記入し、班で交流する。 〔入室前、面接中、面接後、予想される質問内容から〕 ・大きな声で、落ち着いてハッキリ答えるようにする。 ・目線は、動かさず質問者からはなさない。 ・わからない時は、「わかりません」と答える。 ◎卒業した先輩の体験やアドバイスを聞く。	・面接では、本人の生活姿勢が問われがちである。服装、返事等并注意し、質問の受け答えは、ハキハキと好意の持たれる姿勢を大切にすることを確認する。 ・この時期に体験者がいたならば、体験談を発表させてみる。 (雰囲気、質問内容等) ・卒業生の作文や手紙を準備しておく。 (できれば録音したもの)	・P.56①、 P.57②
	・自分の進路実現に向けて、積極的に取り組もうとする意欲をもつことができる。	◎班内で交流し、参考になったことや、これからの残り少ない時間をどうしていけばいいのかをまとめる。 ・仲間も同じように不安をもち挑戦しているんだ。自分も頑張っていきたい。 ・過去の面接の質問事項等を参考に、答えられるようにしておくことが必要である。	・過去の各高校、事業所などの質問内容についての資料を用意しておく。 ・希望実現のためにも、この交流を大切に。 ・結果を恐れず、悔いのない準備をしておくように話す。	※各中学校 で「受験 の心得」 などを作 成すると よい。